



発行所 伊方町 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦 796-03 伊方局38-0211 編集 伊方町 印刷所 豊後社 八幡浜市松柏 22-0144

### 第二回 地域県政懇談会

## 町民会館で開催



開会のあいさつをする伊賀愛媛県知事



伊方町 伊賀知事 菊池加明夫、伊方町 二宮秀賀子、伊方町 松田光一、伊方町 川本初美

懇談会には西宇和郡の各町三人の代表十五人が出席、本町からは二宮秀賀子さん(中之浜)、菊池加明夫さん(川永田)、松田光一さん(久保)の三人、県側からは伊賀知事をはじめ、渡部八幡浜地方局長ら六人が出席しました。まず、伊賀知事のあいさつがあり、出席者の紹介のあと意見交換に入りました。

懇談会には西宇和郡の各町三人の代表十五人が出席、本町からは二宮秀賀子さん(中之浜)、菊池加明夫さん(川永田)、松田光一さん(久保)の三人、県側からは伊賀知事をはじめ、渡部八幡浜地方局長ら六人が出席しました。まず、伊賀知事のあいさつがあり、出席者の紹介のあと意見交換に入りました。

第二回地域県政懇談会が七月十四日、町民会館で開催されました。この懇談会は知事が直接地域へ向いて住民の皆さんと意見交換を行い、その声をこれからの県政に反映していくというもので、昨年の十月に越智郡伯方町で第一回が開催されており今回が二回目。

伊賀知事は、生産基盤の整備、品質の向上、コストの低減、消費拡大などの対策を掲げ採算のとれるおいしいみかんづくりを進めたいと述べました。二宮さんは農村婦人の「安心とゆとりのある生活のために」と題して老人の看護問題をとりあげ、八西地域へ特別養護老人施設と老人ホームの中間的施設の設置を要望し、松田さんは八西地域における乳幼児の緊急医療体制について質問しました。

### 戦後、ソ連又はモンゴルの地域に おいて強制抑留された皆様へ

このたび、平和祈念事業特別基金等に関する法律が成立し、同法に基づいて戦後、ソ連又はモンゴルの地域において強制抑留された方々で日本に帰還した戦後強制抑留者又はその遺族に慰労品(書状・銀杯)を贈呈するとともに、これらの方々のうち年金恩給等を受給していない方には、更に慰労金として十万円(二年償還の記名国債)を支給することとなりました。

慰労品の贈呈及び慰労金の支給は請求に基づいて行うこととしておりますので、慰労品・慰労金の請求をしようとする方は、平和祈念事業特別基金から請求書類を受け取り必要な書類を添えて「平和祈念事業特別基金」あて直接送付してください。

なお、請求書類は伊方町役場福祉環境課にも置いてあります。

請求期限は、慰労品・慰労金とも昭和六十三年八月一日から昭和六十八年三月三十一日までです。

請求書等の送付先及び問い合わせ先

〒112 東京都文京区大塚五-三-113  
平和祈念事業特別基金 業務第二課  
電話番号 ○三一九四五 一四七〇三

### 休診中の町見歯科診療所 地元出身高門医師が開業

9月12日から診療開始

前町田医師が郷里の福岡県で開業のため、三月中旬から休診していましたが町見歯科診療所へ地元川永田出身の高門洋一医師が帰郷され九月十二日(予定)から開業することになりました。

高門医師は三十一歳の独身。東京医科歯科大学を卒業後、松山の歯科医院で三年余り勤務されており、今回

「この標語は、昨年度町人権擁護推進協議会が募集した人権作品の標語の部門で「協議会長賞」に選ばれました。

心明目 ひらけばみえる 差別の芽 脇田 裕美(九町小六年)

高門医師は「地元での開業であり地域の皆さんとコミュニケーションを図りながら、誠心誠意歯科医療に尽力したい」と抱負を語っておられます。こうした高門医師のご理解を無にしないようお互いに受診のマナーを守って接して行きたいものです。

診療時間 平日 9時～18時 土曜日 9時～12時 休診日 日曜日・祝祭日

診療所 町見歯科診療所(九月一日以降 三九一〇五六七)までお尋ね下さい。

### 今月の紙面

二面……第一三三回定例町議会  
三面……民話と伝説「九町」  
町消防操法競技大会  
四面……歳時記「かき水」

### 第一三三回・定例町議会

## 一般会計三億一千二百万円を補正 総額三十億七千四百万円に

### 予 算

第一三三回定例町議会が七月十五日に開催されました。

今回の定例会では、報告案件が五件、議案が十一件、並びに議員発議案件三件が上程され、審議の結果、全議案等が可決承認されました。

今回の定例会で審議された主なものはつぎのとおりです。

(民生費)  
九町向地区道路改良工事 二七三万円  
長寿社会対策促進メニユー事業 六〇万円  
(衛生費)  
小中浦簡易下水道工事 五四〇万円  
奥簡易下水道工事 二九九万円  
畑簡易下水道工事 五〇七万円  
大浜簡易下水道工事 一八三万円  
(農林水産業費)  
大浜寺山農道舗装工事 五五〇万円  
古屋敷水ノ谷農道舗装工事 八〇〇万円  
川永田農村基盤整備事業 七八九万円  
仁田之浜かんがい排水工事 七〇〇万円  
伊予灘漁場改良(鳥津沖魚礁投入) 四五七万円  
沿岸漁業構造改良事業(鳥津水産倉庫)負担金 一、五〇〇万円  
伊方漁港局改良 八、五〇一万円  
田之浦漁港改修 四、二五〇万円  
漁港施設整備(九丁) 二〇〇万円  
田之浦漁港海岸保全 一五〇〇万円  
(土木費)  
湊浦伊方越線改良 一、四七〇万円  
町道四十二号線舗装 七〇〇万円  
町道四十二号線改良 八〇〇万円

伊方宮内線改良(橋梁整備工事) 一、〇〇〇万円  
九町越公園植栽工事 一一〇万円  
(教育費)  
ふるさとづくり交流事業 三〇万円  
町見公民館敷地整備工事 一〇〇万円  
(災害復旧費)  
道路災害復旧工事(町道河内河北線応急仮設) 六〇〇万円

固定資産評価審査委員 渡辺さん再任  
町固定資産評価審査委員会委員の選任  
任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に渡辺太一さん(奥)が再任されました。渡辺さんは二期目。このころに三ヶ年、土地や家屋などの固定資産の評価審査にご尽力いただきます。

水道会計  
五百九十五万円の黒字決算  
昭和六十二年水道事業会計決算の認定  
昭和六十二年水道事業会計の決算が認定されました。これを見ますと、営業収益が八千九百四十六万円に対し、営業費用は七千九百五十一万円、差し引き一千八百五十一万円が営業利益となりました。しかし、営業外収支で二千二百五十六万円不足していますので、これを差し引きますと昭和六十二年単年度での黒字額は五百九十五万円になります。また年間給水量は七十三万

三千九百四十四m<sup>3</sup>となり、一世帯当たり一ヶ月平均約二十五m<sup>3</sup>使用したことになります。これは昭和六十一年度と比べ、一世帯当たり一ヶ月に二m<sup>3</sup>増えたこととなります。

水道会計補正予算(第一号)簡易水道改良費 五、一七六万円

議員提案  
次の三件について政府関係機関へ意見書を提出しました。  
○航空機運航の安全確保と原子力発電所周辺上空の飛行禁止についての意見書  
○オレンジ・果汁・牛肉の輸入自由化に関する産地強化対策を求める意見書の提出について  
○国庫補助負担率の復元に関する緊急要望決議について

町保健センターでは町内各地区に三十名の食生活改善推進員を設置し、健康づくりのための食生活改善を推進してまいります。七月五日、町民会館調理室で今年度二回目の推進員研修会を行いました。今回の研修テーマは「貧血予防」。八幡浜保健所方指導

係長による「貧血と食生活」の講義のあと、町内の現状についての説明を受け、最後に出席者全員で貧血を防ぐ食事実習及び試食を行いました。各推進員さんはこの研修の成果を地区に持ち帰り伝達、調理実習を行うようにしています。

町保健センターでは町内各地区に三十名の食生活改善推進員を設置し、健康づくりのための食生活改善を推進してまいります。七月五日、町民会館調理室で今年度二回目の推進員研修会を行いました。今回の研修テーマは「貧血予防」。八幡浜保健所方指導

係長による「貧血と食生活」の講義のあと、町内の現状についての説明を受け、最後に出席者全員で貧血を防ぐ食事実習及び試食を行いました。各推進員さんはこの研修の成果を地区に持ち帰り伝達、調理実習を行うようにしています。

係長による「貧血と食生活」の講義のあと、町内の現状についての説明を受け、最後に出席者全員で貧血を防ぐ食事実習及び試食を行いました。各推進員さんはこの研修の成果を地区に持ち帰り伝達、調理実習を行うようにしています。

係長による「貧血と食生活」の講義のあと、町内の現状についての説明を受け、最後に出席者全員で貧血を防ぐ食事実習及び試食を行いました。各推進員さんはこの研修の成果を地区に持ち帰り伝達、調理実習を行うようにしています。

係長による「貧血と食生活」の講義のあと、町内の現状についての説明を受け、最後に出席者全員で貧血を防ぐ食事実習及び試食を行いました。各推進員さんはこの研修の成果を地区に持ち帰り伝達、調理実習を行うようにしています。

係長による「貧血と食生活」の講義のあと、町内の現状についての説明を受け、最後に出席者全員で貧血を防ぐ食事実習及び試食を行いました。各推進員さんはこの研修の成果を地区に持ち帰り伝達、調理実習を行うようにしています。

## 町消防団操法競技大会

### 14分団8年連続優勝



町消防団(三好章一団長)主催による消防操法競技大会が七月三十一日伊方中学校グラウンドで開かれ、小型ポンプの部で第十三分団(向)が二年連続七度目の優勝。自動車ポンプの部では第十四分団(畑・須賀)が八年連続優勝に輝きました。

ポンプ操法競技大会は、消防技術の向上と士気の高揚を図る一方、強固な消防精神を養い、部隊行動の迅速適正をはかるとともに、火災防ぎの万全を期するため毎年開催されているものです。

今年の大会には、小型ポンプの部に十六チーム、自動車ポンプの部に三チームが参加。夏の太陽が照りつける炎天下の中を各分団から選ばれた選手たちはきびきびとした態度で操法を行い、消防活動に最も大切な「早さ、正確さ、規律正しさ」など日ごろの成果を競いました。

大会成績は次のとおりです。また、小型ポンプの部上位二チーム、自動車ポンプの部の優勝チームは、八月二十一日、

瀬戸町の三机中学校グラウンドで開催される八西消防操法大会に出場します。

## 健康食生活を

### 食生活改善推進員研修

町保健センターでは町内各地区に三十名の食生活改善推進員を設置し、健康づくりのための食生活改善を推進してまいります。七月五日、町民会館調理室で今年度二回目の推進員研修会を行いました。今回の研修テーマは「貧血予防」。八幡浜保健所方指導

係長による「貧血と食生活」の講義のあと、町内の現状についての説明を受け、最後に出席者全員で貧血を防ぐ食事実習及び試食を行いました。各推進員さんはこの研修の成果を地区に持ち帰り伝達、調理実習を行うようにしています。

## ホテル飛び交う大川めざして

### 240人が汗



伊方ライオンズクラブ(藤井民生会長)は、昭和五十三年同クラブ発足以来、毎年続けている大川清掃を今年も七月二十七日に実施しました。当日は、同クラブのはたきかけにより小学生、老人クラブ、PTA、役員職員など約二百四十人が参加。夏の日が照りつける中、午後一時三十分から一時四十分、伊方大川の河内五本橋(明治百年記念公園)の雑草刈り、ゴミや空き缶の回収をしました。将来は、ホテル飛び交う自然豊かなふるさと伊方を目指して始めたこの奉仕作業、小さくても伊方で一番大きな大川を町のシンボルとして汚さないことは勿論、皆さんの手で守り、ホテル飛び交うきれいな川に育てたいものです。

## 電源立地促進

### 福田町長 辻議員 功労表彰

昭和六十三年年度の電源立地促進功労者として、福田直吉町長と辻忠義町議会議員(元町議会議員)の両氏が七月二十七日、総理大臣官邸で表彰を受けました。

この表彰制度は、電源立地に特に功労のあった地方公共団体の長等を内閣総理大臣及び通商産業大臣から表彰することにより、これまでの御苦労に幾分でも報いることを目的に昭和五十七年度から実施されています。本町では、昭和五十九年度の山本前町長に次いでこの受賞となりました。

両氏は、四国地方で最初の原子力発電所である伊方発電所の立地促進に多大の貢献を行ったことが認められたもので、全国で内閣総理大臣、通商産業大臣各二人のうち、福田町長に内閣総理大臣、辻議員が通商産業大臣表彰を受けてダブル受賞となりました。

### 食生活改善推進員

(任期: S63.4.1~S65.3.31)

部 落	氏 名	部 落	氏 名
大 浜	宮崎 丸子	奥	大 沢 月美
	山藤トシヲ	向	堀内美保子
中之浜	竹村美代		大山初恵子
仁田之浜	松下イトエ	畑	得能弘子
河内	上野ヒナ子		山上百合子
湊浦一	二宮博子	須賀	山上トモ子
湊浦二	村上鈴子	久保	松田サキミ
電力アパート	金沢弘子	西	浜岡千代美
小中浦	吉本エミコ	二見	上田照美
中浦	堀上英子	加周	二宮久恵
川永田一	阿部幸子	田之浦	田玉井計子
川永田二	山本芳枝	古屋敷	池田和美
伊方越	兵頭富子	大成	小島マリ子
亀浦	中田テルミ	鳥津	鳥津ユミ子
豊之浦	中田ミネカ	つわぶき会	篠沢真砂子

# 民話と伝説

取材先/九町 補作/岡村豊  
挿絵/山本一路(湊浦)

## 新しい家族

### 夫婦で子育て ⑪

ぎきょうだいの「ぎ」という字は「擬」がよろしいでしょう。「義」を使うと別の場合と混同されます。血縁関係のない、よその子供と、ぎきょうだいに擬した間柄をつくってはいかがですかという勧めです。

### ぎきょうだいの勧め

よく知られているように、わが国は一家族あたりの子供の数が著しく減っています。一人っ子が一〇%から一五%もいます。ぎきょうだいが一人のもの、つまり二人きょうだいが六割から七割に達します。いまの親たちの世代のぎきょうだいの影響をもつのは、幼稚園・小学校から中学校くらいまでの時期でしょう。それ以降は同じ家庭の中に起居していても、それぞれが学校を中心に友人をもつようになり、その友人との交流がぎきょうだいのよりも優先するようになります。

九町の海南山天徳寺で、七月十四日(旧暦六月朔日)に虫送りの行事があり、九町地区民が一心に念仏を唱えて豊作などを祈った。

天徳寺は、寛文十一年(一六七一)以前、開基不詳。本尊は阿彌陀如来で、地区の人たちから信仰を集めている。昔はな、農家の殆どが田や畑作でな、作物などの害虫を追

九町の頃では昼過ぎから始め、月十四日(旧暦六月朔日)に虫送りの行事があり、九町地区民が一心に念仏を唱えて豊作などを祈った。天徳寺は、寛文十一年(一六七一)以前、開基不詳。本尊は阿彌陀如来で、地区の人たちから信仰を集めている。昔はな、農家の殆どが田や畑作でな、作物などの害虫を追

### 数珠を繰り

### 念仏唱え虫送り

九町

い掛うために、虫送りの行事は古くから行われとります。昔からな、それぞれの部落のお堂へ、お供え物を持って、つぎつぎと大勢の人が集まってきたらな、鉦や太鼓を打ち鳴らしながら、「ナンマイター、ナンマイター、ナンマイター」と念仏を唱え、妖変化を通さんぞというわけです。昔は、朝から一日中やりよったのじゃが、

異性のぎきょうだいの構成の場合、はとくにこの傾向が認められます。これに対して幼い時期には、ふたりが激しく衝突することもあれば、仲良く遊んだり、励ましあって留守番をしたりもします。

自分を主張することとも

一人っ子や、ぎきょうだいがいても年齢が五歳以上離れていると、このような経験をもつ機会がありません。擬きょうだいの勧めというものはこのようなことに基づいたもので、具体的には一、二歳の年齢差のある同性の子供を、両方の親が十分に話し合って合意したうえで、それぞれの家でぎきょうだいで同じような扱いをするのです。子供同士がお互いに好きであることが大前提です。お互いの家に行って一緒に食事をします。泊まることもあります。どちらかの家族と旅行にい



東京都立大学・心理学 詫摩武俊

### 旅券を

### 申請する皆様へ

一般的な旅券の発給申請等は地方局(松山地方局を除く)でできることになりました。

地方局での申請は、旅券受領までに十五日程度必要です。十分余裕を持って申請してください。また、特殊な申請は地方局では扱えません。詳しくは、最寄りの地方局または県庁へお問い合わせください。

愛媛県商工労働部 観光国際課

奥のお寺に葉でできた人形を迎えに行くのですが、今の道路でなしに、旧道を通って運び出し、九町のこうでの端から海の中へ投げ込むがです。投げ込んだらな、子供らは一目散に波打ち際まで走って行って、我先に海へとび込むがです。それはなせかというたら、蚤

や害虫が、からだにとびうつらんように、くいついてきて、それを海の潮で洗い流すというわけなんです。子供らを、毎晩のように青年が連れて歩き、般若心経を唱えながら各戸巡りをしよったのですが、門前の小僧習わぬ経を読むとかで、いつのまにやら心経を覚えたりもしよりました。七月九日の夕暮れになると、高張提燈をつけて数珠をもって各部落からお寺に集まってきました。そこで、読誦会といつてな、お寺の本堂で般若心経を唱えながら大数珠を繰るのです。この行事が終わりますと、松明に火をつけて、田の畦道を歩いて大波止の端まで行って海の中へ投げ込むがです。三十九日間の行事が終わるとな、青年宿に集まって、お寿司をつけてもらい、子供らも一緒に食べて虫送りの行事が終わるのです。



協力者 九町(久保) 松田恒敏氏

## 健康の窓

健康の窓は、皆さんが開けなければなりません。保健センターでは、そのお手伝いをしたいと考えています。

### 高齢社会に思う

[Part 1]

### 「老人保健法制定」

20数年前には、高齢化社会とは、遠い外国のお話ぐらいに思っていました。最近では私の身のまわりに起きる出来事とも関心事も高齢社会に係りのあることばかりになりました。

仕事柄、寝たきり老人の家庭訪問をいたしますが、ここでも20年先、30年先の自分の姿を見る思いがして、高齢社会の問題が山積していることを痛感いたします。

健やかな老後をおくりたい、少なくとも寝たきりとはけにはなりたくないと誰しも願っています。そのためには、生きがいある生活設計の中に、壮年期からの健康づくりがくみこまれることが望まれます。

急激な勢いで進む高齢社会に対応して、40歳からの健康づくりをキャッチフレーズに、老人保健法が制定されたのは七年前のことです。

伊方町でも健康な町づくり、お年寄の住みやすい町

### 「役立てよう」

### 健康診査

老人保健事業の柱は「健康診査」ですが、受診者は一部のみに偏っています。受けない理由として「健康だから」という人が大半をしめています。本当にはどうなんだろうかと心配です。

「健康に行く」と又肥えていると言われて、食事のことに注意されるのが嫌だから」という人もいます。健康診査は異常の有無を判定するだけでなく、健康結果をもとに、よい生活習慣づくりのチャンスが与えられたということですから、これからの健康づくりに多に利用していただきたいと思っています。

### 「三年に一回でも受けよう」

健康嫌いの人が、やっとな、重い腰をあげても「手遅れですよ」と言われたいに、せめて三年に一回でもいいですから健康診査を受けましょう。

20年先、30年先のお年寄りが、健康な老後をおくれることを願って、保健センター職員一同、健康づくりのお手伝いをしています。



歳時記

かき氷

「氷」という文字に、涼し気な波などをあしらった「氷旗」が店先につるされているのは、まさに夏の風物詩です。

その氷旗を見て、子供たちが「あっ、フラッペの店がある」と言っているのを見かけました。かき氷は、現代っ子にとってアイス・フラッペなのです。

フラッペとは、かき氷にリキュールをかけたかき氷、果物などを飾ったものをいうようです。たしかにその店では、発泡スチロールの器にかき氷を入れ、派手な色の清涼飲料をかけたフラッペを売っていました。ストローの先が開いて、スプーンのようになったもので食べるのです。

夏に氷を珍重して食べたのは昔からのことです。日本書紀にも、地面を掘って氷を保存したことが載っており、削氷(けずりひ)は、宴席の献立として出されていたようです。

保存した天然水を使った氷水の店は明治のはじめころからあり、明治中期からは人工氷が出回りました。それが今では、氷は家庭の冷蔵庫で作られるようになり、電気かき氷器は、お中元の品としても人気があります。

トレロ(懐古)ブームで氷旗をよく見かけますが、氷も世につれて変わっているのですね。ところで、夏は冷たいものの食べ過ぎや食中毒の多い季節。

8月の第1月曜日から1週間(今年は8月1日から7日まで)は、食品衛生週間です。この期間中は食品衛生監視員の監視活動が強化され、また、食品衛生思想普及のための行事が各地で開催されます。



松山市石風呂町二二二にお住いの上田富男さん(二見出身)から一万円。広報編集費用にご寄付いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

【お礼】

中之浜の波内隆雄さんから五万円。波内さんは五月十九日に亡くなられたお母様(故波内シズエさん)の香典返しとしてご寄付いただきました。歌謡伊方同好会(代表田中清生)から十七万一千八百六十円。同会は五月二十九日に開催した南子カラオケチャリティ大会の売上金をご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。

住宅金融公庫では、個人住宅建設資金貸付(個人住宅)、建設住宅購入資金貸付(建築住宅)の六十三年度第二回目の申込受付を無抽せん申込順の選考により、次の要領で実施します。

(受付期間) 七月二十五日(月)から九月九日(金)まで

(融資限度額) 個人住宅 本造の場合は四百万円から八百九十九万円、耐火・簡易耐火構造の場合は五十万円から八十万円

(金利) 基準金利は、当初十年間が年四・三五%、十一年目以降は四・九%です。

住宅金融公庫の申込受付について

(返済期間) 木造...二十五年間 簡易耐火構造...三十年間 耐火構造...三十五年間

(返済方法) 元利均等返済又は元金均等返済

(受付場所) 「住宅金融公庫業務取扱店」と表示した銀行などの金融機関です。

(その他) 詳しいことは、住宅金融公庫四国支店、電話 高松〇八七八二五〇五一一番または「住宅金融公庫業務取扱店」にお問合せください。

児童扶養手当の現況届 特別児童扶養手当の現況届

児童扶養手当は、父と生計を共にしていない児童を養育しているかた(母または母以外の養育者)に支給される手当です。

この二つの手当の支給は、四月・八月・十一月の年三回となっております。該当のかたは八月に支給を受けるときに現況届を提出しなければなりません。特別児童扶養手当も同様です。

提出期限は八月二十五日までとなっておりますので、まだ提出されていない方は、早めに役場福祉環境課まで提出して下さい。

町内の交通事故 (8月1日現在) 発生件数...49件 (7月...4件) 負傷者数...15名 (7月...4名)

八月一日から八月三十一日まで「シートベルト着用運動」が行われていました。交通事故で死亡した人のシートベルト着用率は28・6%と非常に悪い状態です。

伊方・町見駐在所

人の動き

人口 8,376人 (男4,068人(+5人) (+1人) 女4,308人(-4人))

えんむすび

昭和63年6月1日 6月30日 氏名 本籍地

お誕生おめでとう よい子に育ってください

昭和63年6月1日 6月30日 保護者 続柄 児名

おくやみ

昭和63年6月1日 6月30日 死亡者 年齢 住所

自衛官募集中

自衛隊では、若人が入隊活躍されることを期待しております。 (1)応募資格 18歳以上25歳未満 (2)身分 特別職国家公務員 (3)給与 初任給(月額十一万二千四百円) 期末・勤勉手当(年3回、合計4・9ヶ月分)の他各種手当が職務や勤務条件等によって支給されます。 (4)衣食住 食費、宿泊費が無料の他、被服等もすべて無料で支給又は貸与されます。 (5)任期制隊員については、特別退職手当が支給されます。 一任期(2年・陸士)満了時... 一〇〇日分(四十二万四千円) 一任期(3年・海上・航空)満了時... 一五〇日分(六十六万二千円) その後の任期(2年)毎に二〇〇日分(七十五日分) 詳しいことは、自衛隊愛媛地方連絡部大洲募集事務所(TEL.〇八九三二四一四二二三)へお問い合わせ下さい。